

令和 8 年度 第 2 回春日区地域協議会 次第

日時：令和 8 年 5 月 13 日(水)

午後 6 時 30 分～

会場：上越市市民プラザ 第一会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 自主的な審議

- ・子どもたちが愛着を持てる春日 ～春日愛の継承～ / 誰もが誰かとつながっている春日 ～春日流儀～

4 その他

(1) 次回開催日程について

- ・日 時：令和 年 月 () 時 分～
- ・会 場：_____
- ・内 容：_____

(2) その他

5 閉会

～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

- その 1 自分以外の人の考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）
- その 2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）
- その 3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）
- その 4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう（相手を責めない）
- その 5 個人の意見は平等に扱いましょう（一人の強い意見に偏らない）

テーマ① 子どもたちが愛着を持てる春日 ～春日愛の継承～

市内の地域自治区で人口を比較した際、春日区では、現在は子どもの人数は多いが、将来的に少子化が進行していくことを見据え、子どもたちが春日地域に愛着を持ち、長くかかわることができるよう、取り組む。

令和8年度第2回春日区地域協議会
令和8年5月13日
3議題（1）自主的な審議
資料No.1

委員敬称略

A	具体的な解決策：春日地域に関する学びや謙信公の顕彰を、地域の大人から子どもへ伝承する	委 員：池亀、崎田、田邊、原 事務局：小川主事
---	--	--------------------------------

○大切にしたいポイント（条件、方針、理念など）

- ・“変わらない何か” がある「地元」と呼べる場所であること
- ・忘れられない思い出があること
- ・大人がかっこいい見本になること
- ・達成感があること
- ・子どもの頃から取り組み、身につくこと
- ・**地元を語れる人になること**

○ポイントを押さえたうえで、課題解決のために実施すべき取組

謙信公検定

○この取組の“推し”ポイント

- ・
- ・
- ・

○実施のための協議事項

実施者（地域の誰が）						
対象者（誰に…ターゲット）		・ 地域（エリア）： ・ 年齢層： ・ その他： ・ 事前講座の実施		取組を継続させるための工夫		
実施方法	★子どもが地域を学び、愛着を持つための工夫			実施方法	講座	
	検定・講座内容（どのようなことを継承・伝承すべきか）	・ 春日村歌 ・ 上杉謙信				検定
	地域の大人が子どもへ伝承するための工夫（仕掛け）			スケジュール		
	受検・受講（参加）しやすさのための工夫			経費		
	※地域の子どもの参加			その他		

テーマ② 誰もが誰かとつながっている春日 ～春日流儀～

令和8年度第2回春日区地域協議会
令和8年5月13日
3議題（1）自主的な審議
資料No.2

現在、人口の多い春日区でも、将来の高齢化や組織の役員の確保、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人とがいつまでもつながってられるよう、取り組む。

委員敬称略

B	具体的な解決策：簡単なゲームを通じた世代間交流	委 員：折橋、瀧本、田中、吉田(実)
		事務局：渡邊係長

○大切にしたいポイント（条件、方針、理念など）

- ・年齢や健康状態等に関わらず、誰もができること
- ・お金がかからず、誰もが集まりやすい環境であること
- ・ルールが単純で、誰もが理解できること
- ・何年も継続できる取組であること
- ・世代間交流ができる“場”の提供となること
- ・誰もが知っている既存のゲームを用いること

○ポイントを押さえたうえで、課題解決のために実施すべき取組

※3点セットで公民館開放事業 輪投げ、マージャン、
オリエンテーリング（またはウォークラリー）

○この取組の“推し”ポイント

- ・
- ・
- ・

○実施のための協議事項

実施者（誰が）				
実施場所		春日地区公民館（春日謙信交流館）		
対象者（誰に…ターゲット）		・地域（エリア）：		
		・年齢層：		
		・その他：		
実施方法	誰もができるための工夫		実施方法	
	集まり（参加）やすさ のための工夫	・公民館開放事業とのタイアップ	スケジュール	R8. 夏 デモ制作（地域協議会） R8. 秋 モニター検証、詳細企画 R8. 冬 予算要求 R9. 制作～本格実施
	誰もが理解できる ルール	・公民館開放時に来館している中高校生にモニターを依頼し、若者の反応を検証しながら作成する		
		経費		
継続しやすさ のための工夫		その他	・春日地区を知ることができる取組としても有効なものにする	

テーマ② 誰もが誰かとつながっている春日 ～春日流儀～

現在、人口の多い春日区でも、将来の高齢化や組織の役員の確保、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人とがいつまでもつながってられるよう、取り組む。

令和8年度第2回春日区地域協議会
令和8年5月13日
3議題（1）自主的な審議
資料No.3

委員敬称略

C	共通の趣味などを持った人がつながるための交流	委員：飯田、市川、上野、本多、 山谷、吉田（義）、渡部 事務局：村山副所長
---	------------------------	---

○大切にしたいポイント（条件、方針、理念など）

- ・小規模な事業から少しずつ規模を広げていくこと
- ・多世代のほか、男性も女性も参加しやすいこと
- ・誰でも参加できるよう説明会や練習会を行うなど工夫すること
- ・参加者に偏りが生じないようにすること
- ・楽しむことを目的とすること
- ・互いの顔が見え、気軽に参加できること
- ・長く継続できるよう、参加費が高額にならないようにすること

○ポイントを押さえたうえで、課題解決のために実施すべき取組

春日地域文化祭

○この取組の“推し”ポイント

- ・
- ・
- ・

○実施のための協議事項					
実施者（誰が）					
実施場所					
対象者（誰に…ターゲット）					
実施方法	誰もが参加しやすい ための工夫	・地域（エリア）： ・年代層： ・その他：	実施方法		
	参加者に偏りが生じない ための工夫				
	継続していくための工夫				
	人と人がつながる ための工夫				
			スケジュール		
			経費		
			その他		